



子宮頸がんって
どれくらいの
ひとがかかるの？

「話そう、子宮頸がん予防」

10代からのHPVワクチン接種と、
20歳を過ぎたら加えて定期的な検診が大切です。^{※1}

10代～

HPVワクチン

2回、または
3回の接種^{※2}

定期接種の公費助成（原則自己負担なし）対象者

小学校6年～高校1年相当の女子

小6

11 / 12歳

中1

12 / 13歳

中2

13 / 14歳

中3

14 / 15歳

高1^{※3}

相当
15 / 16歳

標準接種期間^{※4}

+

20代～

定期的な 検診

20歳を過ぎたら、
定期的な
子宮頸がん検診を
受けましょう。

夏休み、医師に相談してみませんか。



一生のうち2クラスに
1人くらいが
かかると
言われています。^{※5}

※1 HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。

※2 接種時の年齢により、2回もしくは3回の接種が必要です。 ※3 2026年度に高校1年相当の女子が公費でHPVワクチンを接種できるのは2027年3月末までです。

※4 標準的な接種期間は、中学1年（13歳になる学年）の女子となっています。

※5 1クラス＝約35人の女子クラスとして換算 国立がん研究センターがん情報サービス 最新がん統計 2.がんの罹患より (Accessed June 1, 2026)

子宮頸がん予防

検索



2026年6月作成 | OTH26PA4546

